

1,000年に一度と言われる灼熱の日本列島、まだまだ暑い日が続くようです。体調管理に気をつけて今夏を乗りきりましょう。現在会員登録数1,182人さま。ご愛読ありがとうございます。次号は9月20日発行の予定です／

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

【1】お知らせ

【2】コラム

《1》ＹＯ！この本読んだ？ Yasuko's & Okiko's Talk

《2》読書活動ボランティアのためのワンポイント 36

《3》サイト紹介 ー子どもの本をリサーチするー

《4》行って来ました！

【3】全国のイベント紹介

【4】プレゼント

【1】お知らせ

● 当財団編『子どもの本100問100答』が創元社から刊行されました
なぜ子どもに本は大切なの？ どんな本を選んだらいいの？
子どもの本に関わる質問や疑問を100問にまとめて答えた「子どもの本ハンドブック」。子どもに本を読んでほしいと願っている人や図書館、家庭文庫や読書推進に関わる諸団体のための手軽で便利な相談ツールとして編集しました。必要に応じてどの質問からでも読め、通読すると子どもの本の世界を体系的に学べるようになっています。書店等でお求めください。

書名：子どもの本100問100答 司書、読書ボランティアにも役立つ
一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団/編

発行：創元社 2013年8月 A5判 224ページ 1,890円(税込)

内容紹介：

第1部「本をさがす」 キーワード（季節、海、冒険、環境、伝記、離婚、性など）による本の探し方

第2部「本をすすめる」 子どもに本をすすめる大人が直面する多様な質問への回答

第3部「本をえらぶ」 絵本や子どもの文学についての考え方や選び方、調べ方、ファンタジー・科学の本などの選び方

第4部「出版をめぐる」 翻訳や装丁、出版事情、子どもの本の賞、コピーライトなど

第5部「児童文学・児童文化いろいろ」 児童文学史、マンガ、ライトノベル、ゲーム、キャラクターなど、話題性の高い質問への回答

● 「第30回 日産 童話と絵本のグランプリ」作品募集

アマチュア作家を対象とした創作童話と絵本のコンテストです。構成、時代

などテーマは自由で、子どもを対象とした未発表の創作童話、創作絵本を募集しています。締め切りは10月31日（木）です。詳細は↓↓

http://www.iiclo.or.jp/07_com-con/02_nissan/index.html#30boshu

● 研究紀要の原稿募集

当財団では「大阪国際児童文学振興財団 研究紀要」第27号の原稿を募集しています。お申し込み、詳細は↓↓

http://www.iiclo.or.jp/06_res-pub/04_journal/boshu.html

● 寄付金を募集しています

当財団の運営を応援いただける個人、法人の皆さまからのご寄付を募っています。寄付金は、当財団が行う講座・講演会など、さまざまな事業経費に充てさせていただきます。ぜひ、ご協力いただきますようお願いいたします。

お申し込み、詳細は → <http://www.iiclo.or.jp/donation.html>

【2】コラム

《1》 Y O ! この本読んだ? Yasuko's & Okiko's Talk

『負けないパティシエガール』ジョーン・パウアー/著 灰島かり/訳
小学館 2013年6月 対象年齢：小学校高学年以上

あらすじ：12歳のフォスターは、ママの恋人でプレスリーの真似をする芸人のハックがママを殴ったため、ママと一緒に逃げ出し、刑務所がある町カルペパーに辿りつく。二人は親切な夫婦のキャンピングカーに住み、ママは仕事を、フォスターは、刑務所ができて雇用が増えない町の状況を映画に撮ろうとするメイコンと友だちになる。フォスターはカップケーキを作ることは天才的だが文字を読むことができず、そのことを人に知られることを恐れていた。しかし、カルペパーに住む元大女優のチャーリーナさんに知られ、一緒に読む練習を始める。

Y：LDと言われる文字を読むことができないフォスターが主人公の物語でした。

O：2011年に書かれた作品ですが、フォスターはメンフィスの学校ではLDのための専門的な先生による特別な授業を受けていないようで、文字を読めないことを隠そうと苦労しているのは、ちょっと、おや?と思いました。

Y：全体としてはハッピーエンドの物語です。元有名な女優が登場したり、フォスターがあこがれるテレビで有名なパティシエからフォスターに手紙が来たりと夢物語のような作品ですが、フォスターが読めないことを人に知られたくないと必死になるところ、前の学校で先生に「知性に欠ける」と言われたことを気に病んでいるところは、心に響きました。

O：本当にアメリカ児童文学の王道を行くサクセスストーリーですね。エルビス・プレスリーの物真似芸人、元ハリウッド女優、ママとフォスターのロードムービー的な逃避行、DV、温かいコミュニティの存在、ホームメイドケーキと揃っていて・・・。そんな中で気になったのは、イラクの戦争で亡くなったフォスターの父親を美化しているところや、カルペパーの

人たちが刑務所を「やっかいもの」という見方で一面的に描いているところでした。

Y：フォスターにはケーキづくりの才能があって、ママには歌の才能があって、それらが、人々をハッピーにする。フォスターはあこがれのパティシエが書いたレシピが読みたいために、読めないことを乗り越えようとする。とてもわかりやすいだけに多くの10代に読んでもらえる作品かなと思いました。

O：訳もとても読みやすかったです。“Close to Famous”（有名に近づく）というアメリカ的なタイトルを日本の子どものあこがれの職業である「パティシエ」を入れて、手にとってもらいやすく訳されています。「読みやすさ」とテーマの掘り下げのバランスについて考えさせられた作品でした。

《2》 読書活動ボランティアのためのワンポイント 36

その6 絵本の読み方(11)『どろんこハリー』を読む：ハリー、浴槽に入る

第13見開きは、見開き全部を使って1つの画面になっているので、重要な場面であることがわかります。それは、これまでにしたことのない芸をした場面であり、ハリーが今までの自分の殻を捨てて、新しい自分に生まれ変わろうとしている決意を表わしています。「とびこみ」という動詞がハリーのすばやさ表現し、「ちんちん」「はじめて」が、ハリーの意気込みを感じさせるため、それぞれ大切に読みます。

すると、これまでもハリーの行動に注目していた女の子が、ハリーの意図を見抜きます。そして、お父さんが、犬を洗うことを提案します。絵の中で女の子は、前のめりになってハリーに手をさしだしており、お父さんも笑っています。一方、お母さんは驚いたような顔を、男の子も見守るような顔の表情をしており、第10見開き右、第12見開き右の家族の反応が第13見開きの発言や行動につながっていることがわかります。浴槽の中にはおもちゃのあひるがいますが、おもちゃの船は浴槽の外にあり、もしかしたら男の子もおふろが大好きというわけではないのかと思う人もいるかもしれません。

第14見開き左では、男の子が、積極的にブラシを使ってハリーを洗い、女の子はせっけんタオルを持っています。浴室内が泡だらけで、ハリーの表情は楽しみと苦しみを同時に感じているような複雑な表情でユーモラスです。文では、「せっけんだらけ」という言葉が、絵の様子を表現しており、第13見開きに続いて「はじめて」という言葉が出て来ます。この反復によって、聞き手はハリーが生まれ変わる期待を抱きます。「まほう」という言葉によって、ハリーの変身が予感され、子どもたちは「びっくり」します。

両親を呼ぶ子どもたちの声は、犬の変身にびっくりしながら、「みてよ」「きてよ」と浴室の外にいる両親を呼びよせる言葉です。距離を意識して読むことで、速さや大きさが決まります。しかし、さらに重要なのは、次ページで家族全員がそろって「ハリーだ」と認める言葉です。その導入として聞いている人たちも「ハリー」という名前を聞きたいと思えるように読むことで、ハリーが家族に認めてもらえるという大団円を迎えることができます。

*次号は「その6 絵本の読み方(12) 『どろんこハリー』を読む: ハリー、ねむる」の予定です。質問や意見をいただきましたら、お答えしていきたいと思ひます。(Y)

《3》 サイト紹介 - 子どもの本をリサーチする -

一次資料データベース篇 16 回目。ご紹介するのは以下のサイトです。

● プランゲ文庫児童書デジタルコレクション

http://digital.lib.umd.edu/prange_about

以前、本メルマガ(11号)でも少しご紹介したアメリカ合衆国メリーランド大学「プランゲ文庫」の児童書デジタルコレクションです。プランゲ文庫は、占領期の日本で検閲の任にあったプランゲ博士が持ち帰った、検閲済み資料のコレクションです。

同文庫に所蔵されている夥しい資料(雑誌約13,800タイトル、新聞約18,000タイトル、図書等約71,000タイトル)のうち、児童書は約8,000冊。それら資料が順次デジタル化され、現在は約4,000冊が完了、最終的にはすべての児童書が画像化されるそうです。

サイトでは、これら児童書を網羅的に見ることができるとともに、出版年(1944~1949)、出版地(東京、大阪など全国16の都道府県)、検閲処分の有無などで絞り込むことが可能です。例えば、1948年に大阪で「検閲処分あり」とされた本で検索すると、「怪人二郎丸」「白虎」「鞍馬天狗」など14件がヒット。1946年の東京にて、「処分なし」とされた本では208件ものデータが抽出されます。

当時の検閲実態の把握もさることながら、日本には現存しない資料も多数含まれており、純粋に資料として貴重といえます。一方、惜しむらくは、著作権の関係上、現在はサムネイル(縮小表示した画像)、しかも表紙しか見られないことです。また、作家(画家)名で検索できないのも残念です。

しかし、資料画像はすべて、国立国会図書館がマイクロ化を進めており、同館へ行けばマイクロフィルムにて見ることができます。今後、権利処理が進められ、ネットですべての画像が閲覧できるようになることを期待したいものです。(J)

※次号は、一次資料データベース篇〈その17〉の予定です。

《4》 行って来ました!

京都国際マンガミュージアムで開催されている「バレエ・マンガ~永遠なる美しさ~」に行ってきました。この展覧会はバレエ・マンガを描いた代表的な作家12名の作品を中心に、バレエ・マンガの源流から現在まで5つのコーナーに分けて展示されています。

最初のコーナーは、バレエ誕生からの歴史が、当時のダンサーを描いた絵や

写真、風刺画、公演パンフレットなどの資料で解説されています。日本でバレエが一般に知られるようになったのはアンナ・パブロワが来日した大正の頃で、高島華宵の羽のついた衣装の少女の抒情画や、「少女画報」に掲載されたレオタード姿の韻律体操の記事などに取り上げられています。

そして、戦後、少女マンガの文化が花開き、「バレエ・マンガ」がブームになります。高橋真琴や牧美也子などが描いたバレエ・マンガは、戦後の貧しい時代の少女の憧れや夢の世界だったようです。主人公が不幸や苦難に耐える健気な姿が描かれ、「母子もの」など悲しい物語や、ライバルに意地悪をされる主人公の話が多かったようです。トゥシューズに画鋏が入れられるという聞いたことがあるようなエピソードは、高橋真琴の作品の中で最初に描かれたようです。

次の「変革期」「編成期」からのコーナーは、山岸涼子や有吉京子や楨村さとるなど、私も読んだことのあるドラマチックな作品がいっぱいあり、原画が見られて感激。どの絵もしなやかな腕の動きや躍動感が伝わってきました。

他にも、バレエの演目紹介とその演目が登場するマンガが解説されたパネル、白鳥や黒鳥の衣装、ちりばめた画鋏に赤いトゥシューズが載っているオブジェなどが展示されていたり、バレエ・マンガが読める書架があったり、公演映像やiPadで外国のバレエ・マンガの翻訳版の閲覧ができたりと、見どころが盛りだくさんで、時間を忘れて楽しみました。(K)

【3】全国のイベント紹介

● 人形劇「てぶくろを買いに」－新美南吉生誕100年記念－

出演：人形劇団プーク

日時：平成25年9月14日（土）午後3時～4時30分

第1部 人形音楽バラエティ「くるみ割り人形」

第2部 人形劇「てぶくろを買いに」

場所：大阪府立中央図書館 2階大会議室（東大阪市荒本）

参加費：無料

定員：80名（申込先着順）

申込：国際児童文学館あてファックス、往復はがき、来館

主催：大阪府立中央図書館 国際児童文学館／大阪国際児童文学振興財団

協賛：株式会社 図書館流通センター／TRC販売株式会社

● 講演会「日本の子どもの本、中国へ行く！－中国児童文学の現在－」

講師は、『いやいやえん』『ズッコケ三人組』『だれも知らない小さな国』の訳者である朱自強 中国海洋大学教授。中国の子どもたちが、今、どのような本を読んでいるかを話していただきます。日本語による講演です。

日時：平成25年9月15日（日）午後1時30分～3時30分

場所：大阪府立中央図書館 2階大会議室（東大阪市荒本）

参加費：無料 事前申し込み不要

主催：中国児童文学研究会

後援：大阪国際児童文学振興財団

- 資料展示 「絵本の国の赤ずきん～グリム童話出版 200 周年記念」
グリム童話は 1812 年クリスマスに初版が発表されました。代表作『赤ずきん』を国際児童文学館が所蔵する絵本で紹介しします。
主催・会場：大阪府立中央図書館 国際児童文学館（東大阪市荒本）
期 間：開催中 ～9月 29 日（日）休館日あり
◇ 関連イベント： 赤ずきんちゃんに変身！コーナー
赤いマントを着て、記念撮影をしよう！ ※カメラはご持参ください。
日 時：展示期間中の毎週土曜日 午後 3 時 30 分～4 時 30 分
場 所：大阪府立中央図書館 1 階エントランス（東大阪市荒本）

上記イベントの詳細およびその他の講座・講演会、展示会、公募情報については、こちらからご覧ください。↓↓

http://www.iiclo.or.jp/03_event/04_other/index.html

※イベント情報をお送りください。当財団HPに掲載させていただきます／

■ 【4】プレゼント ■

今号のコラム《1》「YO！この本読んだ？」で紹介しました『負けないパティエガール』を 1 名の方にプレゼントします。ご希望の方は、メールで件名「メルマガNO.36プレゼント希望」とし、(1)お名前 (2)郵便番号・住所 (3)電話番号 (4)メールアドレス、よろしければ(5)このメルマガのご感想をお書きのうえ office@iiclo.or.jp にお送りください。
締切は9月10日(火)、当選発表は発送をもって代えさせていただきます／

編 | 集 | 長 | の | つ | ぶ | や | き |

構想から 2 年半、ようやく『子どもの本 100 問 100 答』を刊行することができました。長い道程でしたが、当財団の役員、職員、OB、応援いただいている方々総勢 17 名が結集した執筆陣に加え、創元社の絶大なご協力をいただき、密度の濃い本ができました。まずはご一読いただけることを願っています。(A)

みなさまのご意見・ご感想をお聞かせください。下記メールアドレスまでお願いします。原則として返信はいたしませんのでご了承ください。

- このメールマガジンは、ご登録いただきました皆様に配信しています。
- 配信の登録・解除・変更は、
http://www.iiclo.or.jp/m1_magazine/index.html パソコンからどうぞ
- このメールの送信アドレスは配信専用です。
- 記事の無断転載はご遠慮ください。

発行：一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団 <http://www.iiclo.or.jp/>
〒577-0011 大阪府東大阪市荒本北1-2-1 大阪府立中央図書館内
TEL：06-6744-0581 FAX：06-6744-0582 E-mail：office@iiclo.or.jp
